

福岡市教育センター英語科、英語活動研究室B 検証授業

第6学年A組 英語活動案

G 研検証授業 9月30日(木) 5校時		
Procedure	HRTの発言と動き	児童の発言・活動・反応
Greeting	<p>Hello,everyone. マイクを持って、児童数人に挨拶をして回る。 How are you,shiori? I'm very good and happy. Sit down. Do you have English name plate?</p>	<p>Stand up please. I'm hungry. How are you, Catharine? Yes.</p>
Review	<p>Do you rememmbber body parts? Let's review. Wait aminute, please. リズム ボックスをかける。 Slow pace. Do you remember ? カードを指し示す。 Face face 子ども達が言えたことに対して、 Great. Foot. F says fff foot. Hand. H says hhh hand. Hair .H says hhh hair. Eyebrow, eyebrow, eyebrow. Mouth,mouth,mouth. Good. Nose,nose,nose. Cheek,cheek,cheek. Ear,ear,ear. Good. Eye,eye,eye. O.K. Stop.</p>	<p>リズムを取りながら、タタトゥーとつぶやく。 Face Foot Hand かつら Hair. Eyebrow,eyebrow,eyebrow. Mouth, mouth,mouth . Nose,nose,nose. Cheek,cheek,cheek. Ear,ear,ear. Eye,eye,eye.</p>
Activity	<p>Today's aim is , めあて Body parts のたずね方を覚えよう。 覚えようね。</p>	<p>やってみよう 覚えよう</p>

What's this?

Thank you.

2人に質問。

What's this,Jun?

It's a nose.

O.K.

What's this?

It's an ear.

O.K. Thank you.

2人に質問。

What's this,Shiori?

Thank you.

リズムボックスで。

Listen.

What's this? What's this? What is this?

It's an eye. It's an eye. It's my eye.

Great.

What's this? What's this? What is this?

It's a face. It's a face. It's my face.

Great.Perfect.

Are you ready?

What's this? What's this? What is this?

It's a foot. It's a foot. It's my foot.

Perfect.

リズムを変えて。

Boys question.Girls answer.

Girls question.Boys answer.

Hair.

It's a nose.

It's a nose.

Ear.

It's cheek.

It's cheek.

まだ遅く。

先生に合わせて、**repeat** する。

先生に合わせて、**repeat** する。

100点満点。

男子

What's this?What's this? What is this?

女子

It's cheek.It's cheek. It's my cheek.

男子

What's this?What's this?What is this?

女子

It'

<p>And last. Let's try. Stand up please.</p> <p>Are you ready? One two three.</p> <p>Crap your hands.</p> <p>Good job. Thank you very much.</p> <p>Fukuwarai game.</p> <p>Make groups.</p> <p>Here you are.</p> <p>福笑いのセットを取り出す。</p> <p>Listen ,please. O.K.</p> <p>ルールを日本語で説明します。</p> <p>初めに、顔を渡します。</p> <p>アイマスクをして、袋の中からパーツを引いて下さい。何か分からないので、 What's this?と訊いて下さい。</p> <p>目の部分を取り出し、 何と答える？ 1つ置いたら、次の人に代わって下さい。</p> <p>福笑いの袋を配る。</p> <p>What number?</p> <p>O.K. Fine.</p> <p>No.2 No.</p> <p>顔の部分を配る。</p> <p>Here you are.</p> <p>Listen please.</p> <p>班の皆で、引いたときにヒントを出してほしい。</p> <p>左、右、上、下、そこ、止めてと言うのは？ 英語でヒントをお願いします。</p> <p>Are you ready?</p> <p>班の間を回りながら、アドバイスをする。</p>	<p>いこうぜ。皆やったら、いいじゃないか。</p> <p>Yah.</p> <p>やったあ。</p> <p>指示に従い、机を班の形に並べ替える。</p> <p>班長が福笑いの袋を取りに行く。</p> <p>Left,right,up,down,stop. やる気満々の様子。</p> <p>Yes.</p> <p>アイマスクをし、袋の中からパーツを引く。</p> <p>What's this? Eye.</p> <p>Up,up,left,left.</p> <p>楽しそうに、しかも熱心に遊ぶ。</p>
--	--

	<p>Finished? Wait a minute please. できあがった福笑いを見て、 What's his name? Stop. Listen. Please show it Ymanaka sennsei. No.4 is champion. Second,誰に訊こう。谷先生。 No.2.</p>	<p>友だちのレフトの言葉に左手を挙げて、「こっち?」と尋ねる。 少しだけ、アップして。 Angry.</p>
	<p>Please write reflective card. ちゃんと書いてよ。三行書いてよ。 Soma,are you finished? Be quiet. That's all for today. 今日の日直さんに言ってもらおう。 見に来て下さった先生に。</p>	<p>興奮冷めやらぬ様子で、福笑いを気にしつつも、カードを書く。 今日、楽しかった。 3班 Eさんのつぶやき。 Thank you. Thank you.</p>

板書

めあて Body parts のたずね方を覚えよう。

2 activityの工夫

(1) activity の流れを、本時のめあて・新出単語或いは key sentence の練習・フォニックス発音練習・ゲームという4つの活動の流れをパターン化して行った。activity 中のゲームは、その活動自体が楽しいもの、飽きがこないもの、しかもできるだけ反復の回数を多くできるものを念頭に置いて考えた。ゲームを楽しんでいる内に英語での表現に自然に慣れることをねらったのものである。また、習得の段階において、答えが限定されている closed practice のゲームと、答えに選択の余地がある open practice のゲームと、どちらのゲームにするかも併せて考えていった。closed practice は答えが限定されているため、topic 学習の初期の段階で有効であり、open practice はある程度英語の言葉や文の表現に慣れてきた段階で有効である。

closed practice のゲーム ビンゴ 坊主めくり どんじゃんけんフルーツバスケット
ダウト 絵合わせ けんぱ 双六 open practice のゲーム 買い物ごっこ show and tell

以上のような考えで、activity を組み立ててきた。実際の活動を通して、以下のことを更に考慮に入れる必要があると感じた。ゲームは、やり方やルール説明に時間を多く取られることのないものがよい。シンプルで分かりやすく、誰もがすぐ理解できるものでないと活動を楽しむことができないし、説明に時間を多く割いていたのでは、実際の活動時間が少なくなってしまう。また、得点や勝敗のあるゲームにすることは活動の意欲付けにはなるが、得点が少なかったり負けたりした子が英語活動に対して負のイメージを持ったり、活動に対する意欲を急激に失ったりすることがあるので、発達段階やクラスの子どもの達の実態を考慮に入れておかなければならない。

3 ワークシートの工夫

ワークシートには、phonics sheet と reflective card を次の考えをもって組み込んだ。

(1) reflective card

Reflective Card は子ども達と担任が本時の活動をふり返り、次時の活動をよりよくするための反省材料の意味を持つ。まず、活動自体が楽しいものであったかということが一番のポイントである。activity の内容と学習内容の理解度が楽しんだかどうかの決め手になると考える。次に、英語特有の音やリズムに対して意識しながら活動したかどうかを振り返ることで、子どもたちにとっては、活動する上で何が大切かを知り、それを意識しながら活動をすることができるであろう。また、担任にとっては、採った手だてが適切であったかどうかを判断する材料となる。

(2) phonics sheet

中学校の英語科学習を視野に入れて考えたとき、小学校段階で英語の文字を書くことができなくても、文字を見て音と結びつけることができれば、中学校の英語科学習に入ったときの抵抗を弱められるのではないかと考えた。更に、英語特有の音を区別するためにも、フォニックスの採用は有効であると考えた。